



MAX REPORT

株主のみなさまへ
86期 第2四半期報告書(累計)

自平成28年 4月1日 ▶ 至平成28年 9月30日

経営基本姿勢

いきいきと楽しく力を合わせ
皆揃って成長していく集団を目指す

1. ガラス張りの経営に徹する

連結決算を重視し、一般に公正妥当な会計基準に基づき、企業の方針、業績、実態を適時・適切に社内外に公開してまいります。

2. 全員参画の経営に徹する

社員は仕事を通して積極的に経営に参加し、それぞれの役割の中で事業成果を拡大してまいります。

3. 成果配分の経営に徹する

結実された成果は、「株主」「社員」「社会」に公正に配分してまいります。

86期経営方針

お客様本位と事実主義を活動原点に定め

1. 成長事業の確立 2. 収益力の強化 3. 自ら考え、行動を起こす

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日ごろから格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第86期第2四半期の業績の概要と当社取り組みにつきましてご報告申し上げます。

ご報告

当社を取り巻く環境について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得情勢が堅調に推移しましたが、個人消費では弱さが見られるなど、景気回復は足踏み状態となりました。当社事業に影響を与える国内新設住宅着工戸数は低金利環境の長期化が追い風となり、対前年で増加しました。海外では、米国経済が労働市場、個人消費ともに堅調で、景気は引き続き拡大しており、欧州においても、緩やかな景気回復を継続しているものの、中国やアジア新興国の一部では、成長が減速するなど当社事業を取り巻く環境は依然として不透明な状況となりました。

今期の取り組みについて

このような状況の下で当社グループは、お客様本位と事実主義を活動原点に定め『1.成長事業の確立 2.収益力の強化 3.自ら考え、行動を起こす』を当期の経営方針として掲げ、お客様のご要望を元に成長や収益を考えた商品を生み出し、継続性のある事業活動によりお客様へ還元することで、持続的な成長を図り全社収益の向上を目指してまいりました。

また、人の成長を基盤とした強い企業体質を狙いとし、人事制度改革を進めてきました。先に述べた基本戦略を実行するのは「人」であり、「自ら考え、行動を起こす」メンバーを育てることがマックスの持続的な成長につながると考えております。

これからも、当社の経営基本姿勢の第一である「いきいきと働く」組織作りを行ってまいります。

通期見通し

国内経済は雇用・所得環境の改善が続くなど緩やかな景気回復が続くと見られますが、中国やアジア新興国経済の減速懸念など当社を取り巻く事業環境は依然として不透明な状況にあります。

このような状況下で、当期の経営方針である「成長事業の確立」と「収益力の強化」の達成に向けグループをあげて取り組んでおり、現時点において事業収益は堅調に推移しております。

このような状況を鑑み、平成28年4月28日に公表した平成29年3月期連結業績予想について変更はありません。

今後とも株主のみなさまには、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成28年11月



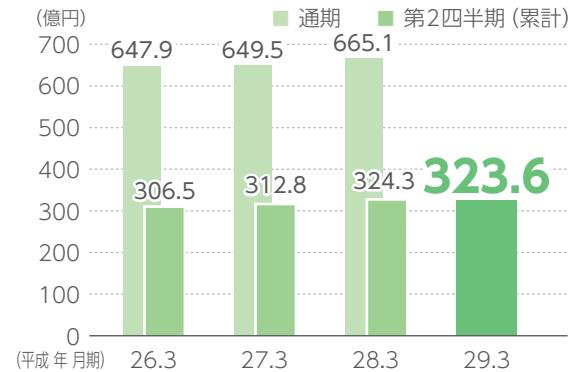
代表取締役社長
川村 八郎

経営基本姿勢・経営方針	1	セグメント別の概要	5・6
株主のみなさまへ	2	特集：マックス ヒストリー	7・8
財務ハイライト	3	会社情報/株式の状況	9
連結財務諸表	4	利益配分に関する基本方針/配当/株主メモ	10

※本資料の将来に係わる記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

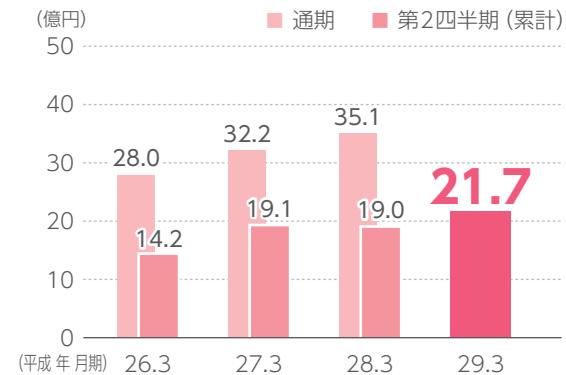
連結損益計算書の概要

売上高



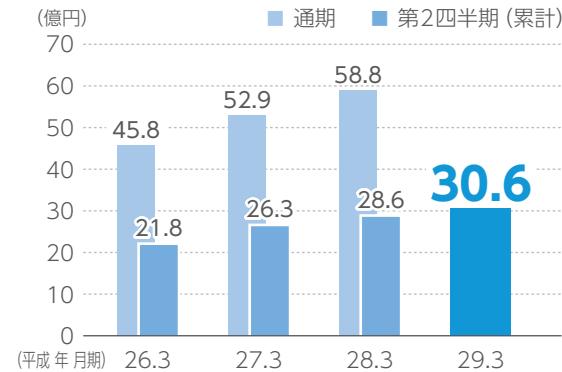
木造建築用工具や浴室暖房換気乾燥機の販売が増加したものの、オフィス機器が円高の影響で減収となった結果、小幅な減収となりました。

当期純利益(*)



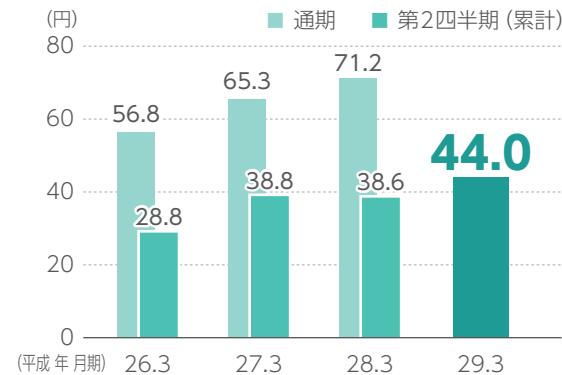
為替の円高を背景に外貨建て資産等の為替差損が発生し、営業外収支が悪化したものの、営業利益の増加を背景に2.6億円の増益となりました。

営業利益



売上高は小幅に減少したものの、製造コスト削減と販売数量増が寄与したことで、営業利益は伸長しました。

1株当たり当期純利益(*)



当期純利益の増加により、前期の38.6円から44.0円に増加しました。

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 (平成28.3.31現在)	当第2四半期 連結会計期間 (平成28.9.30現在)
資産の部			
流動資産		44,693	45,977
固定資産		44,134	41,635
有形固定資産		17,298	17,145
無形固定資産		717	539
投資その他の資産		26,118	23,950
資産合計		88,828	87,612
負債の部			
流動負債		11,519	11,241
固定負債		13,045	12,755
負債合計		24,565	23,996
純資産の部			
株主資本		66,277	66,522
その他の包括利益累計額		△ 2,126	△ 2,999
非支配株主持分		112	92
純資産合計		64,263	63,615
負債・純資産合計		88,828	87,612

損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前第2四半期 連結累計期間 (皇 平成27.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (皇 平成28.4.1)
売上高		32,437	32,362
売上原価		20,162	19,399
売上総利益		12,275	12,962
販売費及び一般管理費		9,409	9,896
営業利益		2,865	3,065
営業外収益		165	182
営業外費用		119	481
経常利益		2,912	2,767
特別利益		46	15
特別損失		53	10
税金等調整前四半期純利益		2,905	2,772
親会社株主に帰属する四半期純利益		1,906	2,171

Point

- 1 受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金や有価証券が増加したことなどにより、流動資産は増加しました。
- 2 未払法人税等が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、流動負債は減少しました。
- 3 外貨建て資産等の為替差損が発生したことなどにより、経常利益は減益となりました。
- 4 営業活動によるキャッシュ・フローの資金増加に対し、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローの資金減少が下回ったため、残高が増加しました。

キャッシュ・フロー計算書

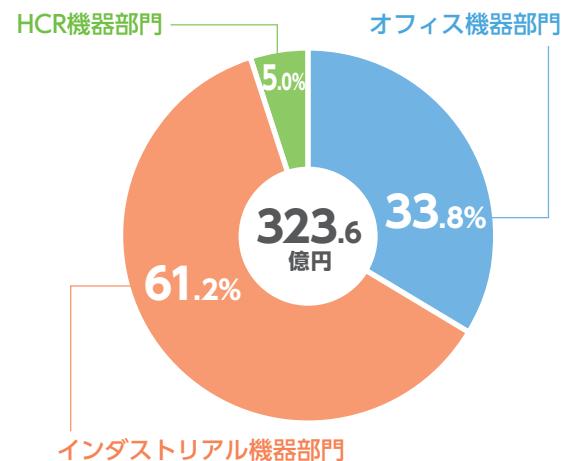
(単位:百万円)

科目	期別	前第2四半期 連結累計期間 (皇 平成27.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (皇 平成28.9.30)
現金及び現金同等物の期首残高		15,343	17,783
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,149	4,290
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 642	△ 71
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,946	△ 2,038
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 110	△ 703
現金及び現金同等物の増減額		△ 551	1,476
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額		-	-
現金及び現金同等物の四半期末残高		14,792	19,259

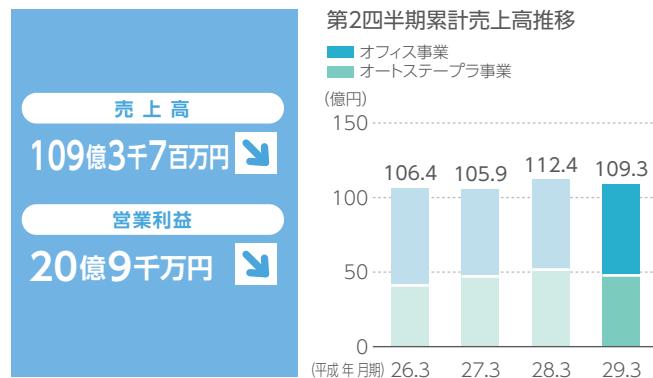
(*) 当期(四半期)純利益とは、「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」を指します。

セグメント別の概要

● 平成29年3月期第2四半期累計売上高構成比



■ オフィス機器部門



オフィス機器部門

- ・ オフィス事業は、主力のホッチキスをはじめとした文具や事務機械を通じてオフィスワークをサポートしています。
- ・ オートステープラ事業は、複写機メーカーに搭載される電子ホッチキスおよび消耗品を供給しています。

インダストリアル機器部門

- ・ 機工品事業は、主力の釘打機をはじめとした木造建築用の工具、コンクリート構造物向けの建設用工具などを販売しています。
- ・ 住環境機器事業は、浴室暖房換気乾燥機、24時間換気システムなどを通じて、住まいの快適環境づくりを提案しています。

HCR機器部門

- ・ 車いすや歩行器など移動機器の供給を通じて、高齢者の自立生活を支援しています。

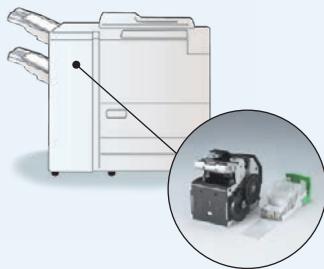
オフィス事業

国内はホッチキスの新製品発売などにより前年水準を維持し、海外では「ビーポップ」が伸長したことなどから、小幅ながら増収となりました。



オートステープラ事業

複写機市場が堅調に推移しましたが、円高の影響を受けたことなどから、減収となりました。



機工品事業

国内は充電工具の新製品を中心に木造建築用工具の販売が伸長しました。海外は販売数量が増加したものの円高の影響を受けたことなどから、減収となりました。

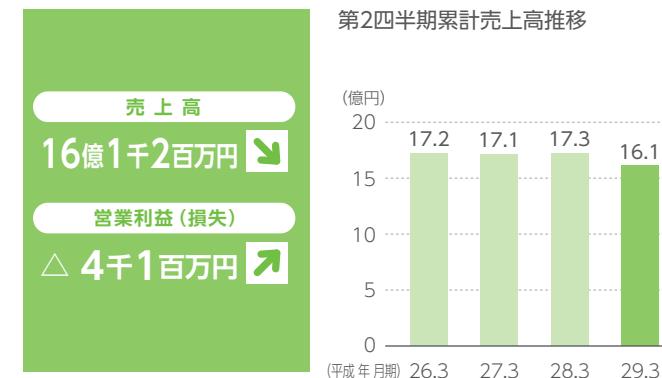


住環境機器事業

主力の浴室暖房換気乾燥機の販売が戸建て住宅や賃貸住宅向けに増加したことで、増収となりました。



■ HCR機器部門



HCR機器部門

車いすの販売台数が減少し減収となりましたが、製造工程の見直しによるコスト削減と円高によるコスト減少などにより営業損失が縮小しました。



ホッチキス物語



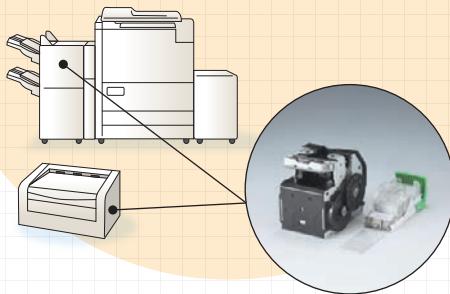
マックスは1952年、国産初の小型ホッチキス発売以来、4億台を超えるホッチキスを生産・販売してきました。紙を綴じる機能を追求し続け、フラットクリンチ ホッチキスも世界で初めて創りました。緑色の小箱・マックス針とともに、ホッチキスはオフィスワークに欠かせない商品の一つとして、シェアNO.1のご愛顧を戴いております。

近年では、高機能ホッチキス[Vaimo11]や紙針ホッチキス[P-KISS]、「colorgimic」のようなユニークな商品をお客様ニーズに合わせて展開しております。

今回は、“お客様からの声”と“マックスの伝統と技術”が詰まったホッチキスのあゆみをご紹介します。

豆知識1 オートステープラについて

印刷・コピー時の機能の1つである「ホッチキスとじ」。ビジネスマンにとっては常識となりつつある機能ですが、こちらにもマックスが世界で初めて開発した技術です。大量の書類を作成する機会の多い方々のために考えられた「オートステープラ」は、今や数多くの複写機で採用いただいております。



1940年代

3号ホッチキス
「ヤマコースマート」



1950年代

10号ホッチキス
「SYC・10」



10号ホッチキス
「MAX・10」



社名の変更にともない「SYC・10」を名称変更した「MAX・10」。普及するにしたがって、“ホッチキス”と“マックス”は同義語になり、文具店には「マックスください!」と買いにくる人が増えたそうです。

1970年代

ハンディタイプ
1億台突破



10号ホッチキス
フラットクリンチ機構搭載「HD-10F」

フラットクリンチとは、“フラット=平ら+クリンチ=打ち曲げる”という意味です。「重ねた書類がかさばるので、ホッチキスの裏をかなづちで潰している」というお客様の声をヒントにした、マックスによる世界初の技術です。



1980年代

グッドデザイン賞

10号ホッチキス
〈SAKURIシリーズ〉
「サクリ」、「サクリフラット」

女性やお年寄りでも片手でラクに、確実にとじられることを重視して開発されたホッチキス。



グッドデザイン賞

11号 新世代ホッチキス〈Vaimoシリーズ第1弾〉
「Vaimo11 FLAT」、専用針「No.11」

卓上タイプに匹敵する小型ホッチキス。「軽とじ機構」に加え、新規規格「No.11」を開発することで2~40枚の書類を綴じることが出来るようになりました。



2000年代

ハンディタイプ
2億台突破

ハンディタイプ
4億台突破

2010年代

日本文具大賞

グッドデザイン賞

携帯ホッチキス
「colorgimic」



グッドデザイン賞

紙針ホッチキス
「P-KISS」



豆知識2 世界のホッチキス比較

ホッチキスは、国によって使われているタイプが違うことをご存知でしょうか？ここではマックスが販売しているホッチキスを例にご紹介いたします。

アジア

日本で最も多く使われているのは、HD-10に代表されるハンディタイプで、このタイプは東南アジアでも主流です。



アメリカ

アメリカではハンドルを叩いて使う卓上型（マックスではHD-35）が多く使われています。日本のものよりも、大きくてやや頑丈なのが特徴です。



ヨーロッパ

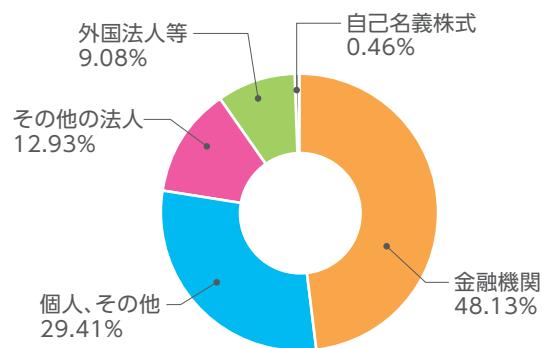
イタリアを中心とするヨーロッパでは、ペンチのように握るプ라이어タイプのホッチキスが使われています。



会社概要 (平成28年9月30日時点)

商号：マックス株式会社
 本社：東京都中央区日本橋箱崎町6番6号
 設立：昭和17年11月26日
 資本金：123億6千7百万円
 従業員：2,662名
 グループ会社：連結子会社22社
 (国内10社、海外12社)

株式分布状況 (所有者別株式数比率) (平成28年9月30日時点)



自己名義株式数： 225,823株
 発行済株式数：49,500,626株
 株主数： 4,132人

取締役・執行役員

代表取締役社長 川村 八郎
 専務取締役上席執行役員 塩川 博
 常務取締役上席執行役員 樋口 浩一
 常務取締役上席執行役員 黒沢 光照
 取締役 監査等委員 梅沢 宏
 取締役 監査等委員(社外) 畠山 正誠
 取締役 監査等委員(社外) 平田 稔

(平成28年10月現在)

上席執行役員 中野 俊和
 上席執行役員 加藤 賢二
 上席執行役員 小鯛 富雄
 主幹執行役員 岸 信夫
 主幹執行役員 浅見 泰
 主幹執行役員 角 芳尋
 執行役員 斎藤 篤
 執行役員 小川 辰志
 執行役員 佐原 隆
 執行役員 飯島 裕治

大株主 (上位10位まで) (平成28年9月30日時点)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	4,284	8.70
マックス共栄会第一持株会	3,811	7.74
日本生命保険相互会社	3,762	7.64
マックス共栄会第二持株会	3,005	6.10
株式会社みずほ銀行	2,344	4.76
株式会社群馬銀行	2,114	4.29
明治安田生命保険相互会社	1,588	3.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,392	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,173	2.38
マックス従業員持株会	1,159	2.35

※持株比率については、自己株式225,823株を控除して算出しております。

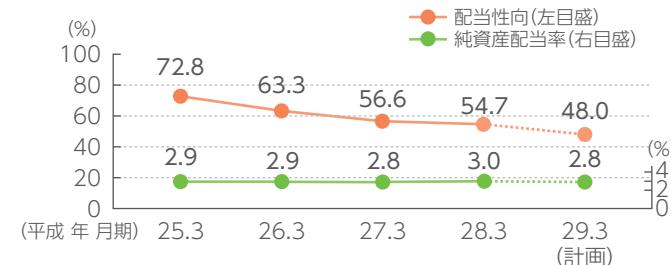
利益配分に関する基本方針 / 配当

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、事業の成長を図り、事業利益を追求することにより自己資本当期純利益率(ROE)を向上させ、業績に裏づけされた成果の配分を行うことを基本方針としております。

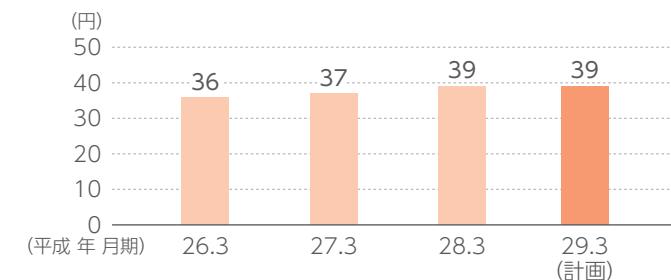
当社の配当政策は、連結決算を基準に「配当性向40%を下限とし、純資産配当率2.5%を目指す」と定めています。

当期は、先行き不透明な経済環境や為替動向などが当社業績に対し影響を及ぼす可能性があります、事業収益は堅調に推移しており、財務状況などを総合的に勘案して、前期と同様の「1株当たり年間配当金39円」とする予定です。

配当性向/純資産配当率の推移



1株当たり配当金の推移



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 ☎0120-782-031 インターネットホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
 単元株式数 1,000株
 公告の方法 当社ホームページに掲載いたします。<http://www.max-ltd.co.jp/>
 ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 上場証券取引所 東京

<http://www.max-ltd.co.jp/ir/> 本社 〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6番6号 TEL.(03)3669-0311(代)

第7回 マックス

「心のホッチキス・ストーリー」

大募集

～毎日の生活の中で、「あなたが今、ホッチキスしたいこと」をお寄せください～

平成28年 10月3日(月)～12月5日(月)

何気ない生活の中にある、「今の幸せ」「家族の絆」「友達との思い出」など、
いつまでも心にとどめておきたい想いや出来事などを募集しています。

応募資格：どなたでもご応募いただけます。

募集内容：あなたが心にとどめておきたいことや、つないでおきたいこと。

(例えば、「今の幸せ」や「家族の絆」、「友だちとの思い出」など、どんなことでも結構です)

募集期間：平成28年10月3日(月)～平成28年12月5日(月)※当日消印有効

応募方法：原稿は400字程度(超過、未満可)。自作未発表作品に限ります。

表彰：

マックス・心のホッチキス大賞	1点	ギフト券5万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス・U-18大賞(高校生の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス・U-18大賞(中学生の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス・U-18大賞(小学生以下の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス賞	5点	図書カード5千円とマックス製文具セット(4千円相当)

※マックス・U-18大賞は、18歳以下の応募作品が対象です。

応募先：当社ホームページの応募専用フォームもしくは郵送で受け付けます。

・**当社ホームページの場合**

https://wis.max-ltd.co.jp/enq/story7_form.html

・**郵送の場合**

住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、ペンネームを明記の上、
以下の宛先までご応募ください。

〒103-0027 日本郵便株式会社 日本橋南郵便局留

マックス「心のホッチキス・ストーリー」事務局 係

審査発表：当社にて厳正な審査をし、入賞者には直接通知し、ホームページ上に
掲載いたします。発表は平成29年2月下旬を予定しております。

詳しくは
当社ホームページへ
アクセス!



著作権について：応募作品の全ての著作権(著作権法第27条
および第28条に定める権利を含む)は、マックス株式会社に
帰属いたします。また、応募作品は、返却いたしません。
なお、応募作品は、出版、映像化(映画・テレビ・DVDなど)、舞
台化、放送、ネット配信などの方法で利用することがあります。



印刷時に、VOC(揮発性有機
化合物)などを含む湿し水が
不要となる水なし印刷です。



CO₂を排出しないグリーン
電力を一部使用している
工場印刷しています。



石油系溶剤の一部を植物
油に置き換えたベジタブル
インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)
に基づいた、読みやすい文字
デザインを使用しています。